様式３（2015.06改）

作成日　平成 30年 3月 8日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375700826
事業所名	グループホーム 若宮

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加入し回覧板で情報を入手して、交流を図っている。草刈りやごみ収集場所の掃除も入居者と一緒に行っている。地域の避難訓練では、地域の方のサポートの協力を得て、高台まで入居者と避難した。通学時には、小学生の水分補給やトイレ利用などの場所を提供している。地域の福祉祭りの見学や公民館のバザーで買い物を楽しんでいる。ボランティアによる音楽療法では、アコーデオン、ハーモニカ、オカリナなどの演奏会が行われ近隣に住む人たちとふれあう機会を大切にしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は年6回、同地域の法人3事業所と合同で開催している。入居者や入居者家族、地区の区長、民生委員、地域包括支援センター、福祉課職員の参加を得て、各事業所の取り組み状況の報告や情報交換が行われている。出された意見や提案はカンファレンス等で協議しサービスの向上や運営に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議に役場の担当者が毎回参加し、情報やアドバイスを得ている。担当窓口には、認定書類や申請の代行業務や活動報告やサービスの内容などを伝え、良好な協力関係を深めている。また町主催ケアマネの集いに参加してサービスの向上に努めている。市主催の研修会にも積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から、家族からは面会時や行事、運営推進会議、電話連絡等機会あるごとに意見や要望を聞くようにしている。記録をしてカンファレンス等で話し合い、職員間で共有してケアや接遇などの改善に役立てている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○		